



(公社) 応用物理学会有機ナノ界面制御素子 (NICE) 研究会

チュートリアル

～有機ナノ界面の制御・評価技術の基礎からデバイス応用まで～

日時：平成 28 年 9 月 12 日

場所：新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」

新潟県新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地 プラウカ 1・2 階

参加費：

一般：3,000 円

学生：1,000 円

参加費は当日直接持参ください。

開催趣旨：

有機ナノ界面制御素子研究会の特徴であるナノ界面を利用した有機エレクトロニクスやバイオエレクトロニクスに関連する基礎講座を開催します。本研究会では、5名の講師を招いて、1. プローブ顕微鏡などを用いたナノ界面の評価技術やバイオ応用、2. ナノ界面、特に金属電極と有機ナノ界面の制御、3. ナノ界面の光学的手法を用いた評価方法、4. ナノ界面制御による有機電子デバイス応用、について基礎的なことから最新の応用例を挙げて、特に学生・若手研究者向けに講演を行います。新しく研究を始めた若手だけでなく、改めて基礎を学びたいシニア研究者まで積極的な参加を期待しております。

スケジュール：

13:00～13:05 趣旨説明

13:05～13:55 東京工業大学 林智広先生

走査型プローブ顕微鏡を用いた表面・界面の制御・評価

13:55～14:45 東京農工大 臼井博明先生

有機薄膜の成膜と蒸着重合法の原理・応用

14:45～15:35 早稲田大学 古川行夫先生

分光学的手法を用いた有機薄膜・界面の評価技術

15:35～15:50 休憩

15:50～16:40 新潟大学 新保一成先生：

表面プラズモン共鳴法を利用した有機薄膜の評価とセンサー応用

16:40～17:30 千葉大学 工藤一浩先生

有機半導体デバイスの基礎と応用展開

17:30～17:35 閉会挨拶

主催：応用物理学会 有機ナノ界面制御素子研究会

世話人：馬場 暁 (新潟大学)、山田 俊樹 (情報通信研究機構)、福田 武司 (埼玉大学)

申し込み先：埼玉大学の福田 (fukuda@fms.saitama-u.ac.jp) まで直接メールで申し込み下さい。